

第18回海洋立国推進功労者表彰受賞者

1. 海洋立国日本の推進に関する特別な功績 分野

普及啓発・公益増進 部門

氏名	た だ くになお 多田 邦尚	年齢	65	
所属	香川大学 名誉教授/ 香川大学瀬戸内圏研究センター 客員教授			
功績の概要	沿岸海域の環境研究と環境保全、 および沿岸海洋学の普及啓発に貢献			

功 績 事 項

- 閉鎖性沿岸海域における物質循環研究の推進
 - 「沿岸海域の低次生物生産過程と生元素循環に関する研究」を推進
 - 研究助成金を積極的に取得し、名古屋大学・金沢大学、瀬戸内地方の広島大学・愛媛大学、海上保安大学校、更に大阪府・兵庫県・岡山県・香川県水産試験場などと共同研究を展開し、東部瀬戸内海の研究・教育拠点として、瀬戸内海の環境研究をけん引
 - 研究論文 165 編、著書 12 編、その他 26 編を発表
以上の功績により、平成 27 年日本プランクトン学会論文賞、平成 29 年日仏海洋学会賞「沿岸海域の低次生物生産過程と生元素循環に関する研究」、令和 5 年珪藻学会論文賞を受賞
- 沿岸海洋の理解・環境保全の普及啓発と啓蒙活動
 - 海洋科学の教科書「海洋科学入門」(恒星社厚生閣)を執筆
 - 一般市民向けの「瀬戸内圏の干潟生物ハンドブック」(恒星社厚生閣)を出版
 - 瀬戸内海の環境に関する教材動画(瀬戸内海環境保全協会)を作成
 - 高校生や一般市民に対する多くの海洋実習・講演等(日本財団 海と日本プロジェクトなど)を実施し、沿岸海洋学の啓蒙活動にも力を入れてきた。
以上の功績により、平成 24 年文部科学大臣表彰「干潟を含めた浅海環境研究と市民への普及啓発」を受賞
- 学会・社会活動
 - 日本海洋学会において、評議員・和文誌「海の研究」編集委員・沿岸海洋研究会会長を務め、沿岸海洋学の発展に貢献
 - 特定非営利活動法人瀬戸内海研究会議の理事長・企画委員長、公益財団法人国際エメックスセンター(世界閉鎖性海域環境保全会議)理事、「大阪湾圏域における海域環境再生・創造に係る研究の助成事業」の選考委員などを務め、次世代の瀬戸内海の沿岸海洋研究者育成に尽力。
同時に、兵庫県豊かな瀬戸内海再生調査事業検討委員、香川県水産審議会・委員、香川県栄養塩類管理推進協議会 会長などを務め、瀬戸内海の環境保全と水産業の発展に貢献。
以上の功績により、令和 7 年日本海洋学会宇田賞「沿岸海域における物質循環研究の推進と環境保全活動の普及啓発」を受賞

